

水コン協 活動報告

(令和元年7月～11月末)

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／専務理事 尾崎正明

本協会の活動に対しまして、常日頃からご理解、ご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

令和元年7月から11月末までの本協会の活動状況は下記の通りです。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当協会の活動状況については、随時、当協会HPに掲載しておりますので、こちらをご覧ください。「水コン協」で検索できます。

I 「下水道展'19横浜」への参加

下水道界最大のイベントである「下水道展'19横浜」は、8月6日(火)から9日(金)の4日間にわたりパシフィコ横浜展示ホールで開催されました。今年は8月開催(学生は夏休み)であることから、就職活動を控える学生を対象として水コンサルタントの魅力をアピールするイメージアップ活動を実施しました。クイズラリー参加者の親子も多数来訪され、4日間の総来客数は1,101名でした。また、併催企画として講習会「水コン協における防災・減災・安全への取組み」を実施しました。

II 第29回技術研究発表会の東京開催

第29回技術研究発表会が、7月5日(金)9時30分から17時10分にかけて、東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において開催されました。参加者数は、一般参加者、発表者、技術・研修委員会委員等の関係者を合わせて169名となり、14編(上水道3編、下



写真-1 第29回技術研究発表会

水道11編)の論文発表と、発表に関する質疑応答が大変活発に行われました。また、日本下水道新技術機構の石田上席研究役による特別講演「下水処理水質とエネルギーとの関係」も同時に行われました。

III 「雨水管理総合計画策定マニュアル(案)」の発行

雨水管理総合計画の策定にあたり、実務的な内容を記載した「雨水管理総合計画策定マニュアル(案)」を11月に発行しました。社会資本整備の一環として重要な位置にある雨水管理計画を、全国の事業者と一体となって推し進めていくにあたり、業務を遂行する上での参考として本マニュアルを大いに活用ください。

IV 事業の概要

凡例 ()内は、公益社団法人事業の区分

公益目的事業 = (公)

その他の事業(相互扶助等事業) = (他)

<>内は、中期行動計画の行動項目分類

【 】は、担当する委員会名又は支部名

1 調査研究・資料収集(公)

1) 調査研究(独自) <2-①-A>

①主要刊行物リスト更新 HP更新 【技術・研修】

2) 調査研究(受託)

【受託調査研究】

[(公社)日本水道協会]

①水道施設耐震工法指針・解説の改訂に向けた調査業務及び支援業務

[(公社)日本下水道協会]

②下水道技術職員養成講習会テキスト等修正業務

[北海道大学]

③広域水管理に関する研究におけるデータ収集と一部作図業務委託

3) 成果 <1-③-A>

①「水坤」vol.58(令和元年7月) 【水坤編集部会】

「国土強靱化のための緊急対策への取組み」

発行部数 5,350部

配布先: 会員、地方公共団体、大学、その他

②HPによる情報発信 【対外活動】【支部】

4) 要望 <1-②-B>

①要望と提案活動資料のHP更新 7月
【対外活動】

【北海道】

②要望と提案活動8月～9月
内容：協会の要望と提案及び支部会員名簿を基に、道内の事業体へ訪問等による要望活動

【東北】

③支部会員名簿を全体協議会出席者、関係事業団体等へ配付 (8月)

【関東】

④日本水道協会関東地方支部総会におけるPR活動 8月6日(火) 東京都
内容：出席事業体に水コンサルタント活用のご案内(支部長名)等の資料を配付

⑤要望と提案活動 8月19日(月)～10月11日(金) (一部11月まで実施)
内容：水コン協の要望と提案を基に、支部役員・正副委員長等による1都7県事業体60ヶ所への訪問要望提案活動

⑥JS・コンサルタント実務責任者会議 10月8日(火) JS東日本設計センター
内容：下水道事業に係る実務事項協議(継続要望の取組状況の確認、周知徹底の再確認を含む)

【中部】

⑦福井県、新潟県、長野県、富山県の各下水道管理部局と「要望と提案」について意見交換を実施。

8月23日(金) 福井市地域交流センター 45名

⑧「要望と提案」に関する意見交換会である「名古屋市会議」「愛知県会議」について、中部支部協議内容を精査中。また開催時期を打診中。(11月末現在)

【関西】

⑨2府4県意見交換会 8月～11月
内容：大阪府、大阪市、堺市、京都府、京都市、兵庫県代表市(兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市)、奈良県、奈良市、滋賀県、大津市、和歌山市

⑩2府4県意見交換会資料、支部会員名簿、水坤夏号を366自治体へ送付 10月23日(水)

⑪JSとの実務責任者会議 11月13日(水) 日本下水道事業団西日本設計センター

⑫2府4県下水道懇談会 11月14日(木) メルパルク大阪

【中国・四国】

⑬令和元年度要望と提案活動 8月～10月
内容：協会の要望と提案資料、支部会員名簿を基に、中国・四国地方9県の市町村への訪問等による

要望

【九州】

⑭要望と提案活動 8月～11月
内容：協会の要望と提案及び支部会員名簿を基に、九州管内の事業体訪問及び沖縄県那覇市で開催された日水協九州地方支部主催の技術研究会にて要望活動

5) 提案

①中期行動計画進捗管理 【企画】【支部】
②事業運営支援手法について事業体訪問【事業運営支援】

2 育成(公)

1) 学校等への働きかけ <1-③-A>

①大学・学生向けツールの作成 【対外活動】【総務】【支部】
②水コンサルタントになろうHP更新 8月
【対外活動】【総務】

【関東】

③次代の人材確保に向けた学校訪問等 10月下旬～令和2年2月
内容：本部からの協力依頼を受け、学校訪問又は郵送により学生向けリーフレット等を用いたPR活動

【中部】

④水源涵養事業実施 10月26日(土) 水源涵養講習会：48名
内容：水源地域(長野県木曾町内)の水源地保全作業(本年度は豚コレラの影響で講習会：愛知用水総合管理所 牧尾ダム、他)

2) 講習会 <2-②-A>

①第29回技術研究発表会 7月5日(金) 169名
国立オリンピック記念青少年総合センター
内容：技術報告集(第33号)
②下水道展'19横浜併催企画「水コン協における防災・減災・安全への取組み」 8月7日(水) 133名
パシフィコ横浜会議センター

【北海道】

③技術講習会 7月31日(水) 83名
ホテルポールスター札幌
内容：管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドラインについて/管路更新を促進するための取り組みについて

④本部提案型技術講習会 10月29日(火) 32名
ホテルポールスター札幌
内容：設計等業務委託積算歩掛(案)(水道)(平成30年度改訂版)の解説/下水道雨水管理総合計画策定マニュアルについて

【東北】

- ⑤技術講習会（本部提案型） 7月2日(火) 83名
宮城県民会館（東京エレクトロンホール宮城）
内容：「下水道雨水管理総合計画策定マニュアル（仮称）の解説」/「設計等業務委託積算歩掛（案）（水道）（平成30年度改訂版）の解説
- ⑥技術講習会・実務者研修会 10月10日(木) 68名
宮城県民会館（東京エレクトロンホール宮城）
内容：マンホール蓋の維持管理/浸水対策に向けての流量制御機能向上/成熟産業のなかでの成長/災害時支援者育成

【関東】

- ⑦第2回技術講習会（本部提案型） 9月11日(水) 57名
けんぽプラザ
内容：将来像を描く「下水道ビジョン」の提案-効率的・効果的な事業運営のための将来像やロードマップの検討-/マンホール蓋のJIS改正とストックマネジメントの進め方
- ⑧第3回技術座談会 11月22日(金) 80名程度
けんぽプラザ
内容：瑕疵事例に学ぶ品質確保方策/設計等業務委託積算歩掛（案）（水道）（平成30年度改訂版）の解説

【関西】

- ⑨本部提案型講習会 7月24日(水) 122名
昭和設計大阪ビル
内容：令和元年度災害時支援者育成講習会
- ⑩関水コン技術講座 10月3日(木) 107名
昭和設計大阪ビル
内容：改正水道法とコンサルタントへの期待、水道事業広域化の取り組み

【中国・四国】

- ⑪日本ダクタイトイル鉄管協会共催第1回講習会
7月25日(木) 14名（全体30名）
広島市まちづくり市民交流プラザ
内容：ダクタイトイル鉄管の各種特殊工法についてダクタイトイル鉄管の最近の規格改正についてGX型ダクタイトイル鉄管施工現場見学
- ⑫日本技術士会共催講演会
8月24日(土) 16名（全体64名）
第3ウエノヤビル
内容：水処理技術の今日的課題について/平成30年度7月豪雨災害時の対応について/下水管調査のさらなる効率化を目指して~閉鎖性空間調査用ドローンの有効性について/給水用高密度ポリエチレン（給水青ポリ管）の耐震性評価について
- ⑬2019年度ダクタイトイル鉄管協会共催セミナー
10月15日(火) 19名（全体58名）
広島市まちづくり市民交流プラザ

内容：管路更新を促進するための取り組み、徳島県小松島市における概算数量発注方式の導入、水道法改正と水道事業の経営基盤強化に向けた取り組み

- ⑭本部提案型講習会 11月12日(火) 55名
中電技術コンサルタント会議室
内容：ダクタイトイル鉄管の施工不良の事例及び施工管理のポイントについて/腐食と防食について/下水道管路内流量・水質調査マニュアルについて/下水道雨水管理総合計画策定マニュアルについて
- ⑮「給配水システムの耐震化について」共催説明会
11月19日(火) 17名
広島サンプラザ
内容：高性能ポリエチレン管の特徴と性能について/給水装置の耐震化について/キャラパンカーによるエスロハイパーの性能実演

【九州】

- ⑯第2回技術講習会（日本ダクタイトイル鉄管協会共催）
福岡会場 9月26日(木) 94名
都久志会館、沖縄会場 10月24日(木) 49名
沖縄県男女共同参画センター
内容：大規模災害に備える最近の地震災害と豪雨災害から学ぶ/市民の受入れ意思と管路更新について
- ⑰第3回技術講習会（本部提案型技術講習）
11月14日(木) 52名
福岡県中小企業振興センター
内容：下水道雨水管理計画策定マニュアル（仮称）の解説/上水道設計等業務委託積算歩掛（案）平成30年度改定版の解説
- ⑱第4回技術講習会（日本水道協会九州地方支部・九州ウォータークラブ共催）
11月27日(水) 145名
内容：唐津市水道局の効率的な事業運営への取り組みについて/管路更新を促進するための取り組みについて/水道事業の今後の展望について

3) 委員の派遣 < 2-②-A >

期間中に新たな委員委嘱なし

4) 講師の派遣 < 2-②-A >

- ①国土交通省（国土技術政策総合研究所含む）
「アセットマネジメント、広域化・共同化に係る人材育成研修」 4名
- ②千葉県
「水道事業危機管理担当者会議」 1名
- ③兵庫県
「アセットマネジメント研修会」 1名
- ④（公社）日本水道協会

「令和元年度水道施設耐震技術研修会」 3名

【北海道】

⑤北海道庁

内容：「北の下水道場」

9月4日(木) アドバイザー4派遣

⑥北海道建設技術センター

内容：「下水道実務研修会」

9月12日(木) 講師1名派遣

⑦北海道大学工学部

内容：「水道・下水道システムにおける設計製図」

10月2日(木)～11月28日(木) 全8回 講師延べ8名派遣

【東北】

⑧岩手県

内容：雨水浸水対策の手法について 9月10日(火) 1名

【関西】

⑨兵庫県まちづくり技術センター

内容：「ストックマネジメント計画・BCP・雨水対策手法」

11月29日(金) 4名

兵庫県民会館

【九州】

⑩福岡県下水道課

内容：汚水処理の事業運営に係る「広域化・共同化計画」の策定に向けての全体会議

9月5日(木) 10名（ワークショップのサポート

5) CPD制度運営・広報 <2-②-A>

【CPD 部会】

(令和元年7月以降)

認定プログラム

39件

3 災害時支援 (公) <3-③-A>

①災害時連絡訓練 7月30日(火)～8月1日(木)

【災害時支援】【支部】

②災害時支援者育成講習会 7月16日(火) 130名

国立オリンピック記念青少年総合センター

③災害時支援者育成講習会 7月24日(水) 115名

昭和設計大阪ビルセミナー室

【北海道】

④北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議

8月1日(木)

宮城県自治会館

⑤北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議

情報伝達訓練（メールによる連絡訓練） 10月8日(火)

⑥北海道下水道災害対策会議 実地訓練

11月5日(火)～11月6日(水)

苫小牧市

【東北】

⑦北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議

8月1日(木)

宮城県自治会館

⑧北海道・東北ブロック情報伝達訓練

5月15日(木)、10月8日(火)

⑨災害支援 令和元年度台風19号災害 災害時支援協力
宮城県、仙台市建設局、宮古市

【関東】

⑩災害時支援関東ブロック連絡会議（下水道）

8月22日(木)

東京都流域下水道本部

*情報伝達訓練（メール）

9月13日(金)

⑪東京都流域下水道本部との災害時支援協定に関する打
合せ

9月12日(木)

東京都流域下水道本部

⑫甲府市管路施設の被災時における災害復旧手順等の講
習会

11月14日(木)

甲府市上下水道局

内容：水コン協における災害時支援の取組について説
明

【中部】

⑬中部ブロック災害時情報伝達訓練 7月9日(火)

⑭本部提案型技術講習会 10月11日(金) 86名

名古屋駅前ウインクあいち1101会議室

内容：「災害時支援者育成講習」及び「熊本地震の災害
支援実施報告」

⑮台風19号に伴う長野県水害被害に対する支援実施：

10月31日(木)

中部支部会員会社、中部支部事務局

【関西】

⑯水コン協災害訓練

7月30日(火)

関水コン事務所

⑰近畿ブロック連絡会議

8月30日(金)

滋賀県庁

⑱近畿ブロック災害時連絡訓練

10月1日(火)

関水コン事務所

【中国・四国】

⑲災害時支援ブロック支援連絡会議（下水道）

7月22日(月)

愛媛県庁

⑳中国・四国ブロック災害時情報伝達訓練 8月27日(火)

災害時支援協定の締結（広島市）

11月20日(水)

【九州】

㉑災害支援協定の締結（鹿児島県薩摩川内市）

10月8日(火)

㉒九州・山口ブロック下水道事業災害時支援体制連絡会
議

10月23日(水)

沖縄県土地開発公社会議室

4 資質向上 (他) <1-①-B><2-②-A><2-④-A>

②ノー残業キャンペーンの実施

10月

【総務】、【支部】

- ②働き方改革セミナー（建コン協共催）
7月30日(火) 160名
都道府県会館

【北海道】

- ③施設見学会 9月19日(木) 15名
北海道立総合研究機構（旭川市）
④独占禁止法に関する研修会（3協会共催）
11月21日(木) 101名
ホテルポールスター札幌

【東北】

- ⑤独占禁止法研修会（6団体共催）
9月6日(金) 229名（水コン協29名）
⑥現場見学会 11月15日(金)
仙台市南蒲生浄化センター
⑦次代を担う技術者の研修 11月15日(金)
宮城県民会館（東京エレクトロンホール宮城） 17名
⑧技術見学会 11月21(木)～22日(金) 1泊2日 14名
内容：虹の下水道館、東京都水の科学館等の見学

【関東】

- ⑨第15回水道関係者現場技術研修会 9月20日(金) 48名
株前澤工業 埼玉製造所
内容：需要者へ安全につなぐ給水装置及び弁類の認識
を高めるための工場見学・実技体験及び座学
⑩九州支部若手社員研修会支援活動 10月4日(金)
福岡商工会議所
内容：関東支部人材育成検討合同委員会委員3名を派遣し運営支援
⑪コンプライアンス勉強会 11月8日(金) 45名
けんぽプラザ
内容：“働き方改革が求められる時代Part2” 今、どのように「同一労働同一賃金」に取り組むか

【中部】

- ⑫下水道事業研修会 8月23日(金) 45名
福井市地域交流センター会議室
内容：福井県・新潟県・長野県・富山県の下水道事業の状況講習会と、各県下水道担当者との意見交換会

- ⑬コンプライアンス講習会（5団体共催）
11月11日(月)、約260名
名古屋ガーデンパレス
内容：独占禁止法の概要（入札談合規制のを中心に）/
消費税転嫁対策特別措置法について：公正取引委員会事務総局中部事務所

【関西】

- ⑭女性懇談会2 10月31日(木) 36名
日水コン

【中国・四国】

- ⑮建設関連5団体共催講習会

10月15日(火) 27名（全体230名）

- 広島県民センター
内容：独占禁止法の遵守について／建設コンサルタント業務等の入札契約制度について

【九州】

- ⑯若手社員研修会 10月4日(金) 30名
福岡商工会議所会議室
内容：ロールプレイングによる人材育成研修

5 イベント活動等（他）《1-③-A》

- ①下水道展'19横浜 8月6日(火)～9日(金)

【対外活動】【関東】

- 内容：パシフィコ横浜展示ホール 水坤配布約1,000冊

【北海道】

- ②新ひだか町「上下水道パネル展」
7月27日(土)～8月8日(木)

- 内容：「私たちの大切な水～豊かな地球水のある暮らし～」 パネル貸し出し、パンフレット配布

- ③北海道庁「下水道の日」 9月6日(金)～9月9日(月)

- 内容：「私たちの大切な水～豊かな地球水のある暮らし～」 パネル貸し出し、パンフレット配布

【東北】

- ④広瀬川1万人プロジェクト（第26回 広瀬川流域一斉清掃） 9月28日(土) 94名

- ⑤「仙台市下水道フェア」のブースへの出展 11月3日(日)
内容：「下水道のがっこう」（下水道にまつわるクイズの出題、つまらん管の実演実験）

【関東】

- ⑥「荒川・下水道フェスタ2019」出展活動 10月5日(土)
荒川水循環センター ブース来場者680名
内容：NPO21世紀水倶楽部と共催で出展。一般市民にゲームを通じ下水道について啓発及び水コンサルタントをPR

【中部】

- ⑦「富山県下水道フェスタ2019」参加 富山県小矢部川流域下水道二上浄化センター 9月7日(土)
内容：水コン協ブース設置(水の重要性のアピールと、簡単なゲームを通して、上下水道の啓蒙活動を実施)

【関西】

- ⑧しぜん探検隊 子供向け水環境教育
8月24日(土) 40名（内小学生8名）
交野市立水辺プラザ

【中国・四国】

- ⑨「広島市下水道フェア」のブースへの出展 9月8日(日)

- ⑩建設技術フォーラム2019in 広島への協賛
広島市内（広島産業会館）11月26日(火)、11月27日(水)

【九州】

- ⑪水源涵養林の植樹（第21回耶馬の森林植樹の集い）

11月23日(土) 19名

内容：大分県中津市内の耶馬溪ダム河畔の植樹

6 厚生事業等（他）

①水コンサルタント賠償責任保険事業【総務】【北海道】

②ボウリング大会 9月11日(水) 38名

【東北】

③釣り大会 7月6日(土) 25名

④ボウリング大会 10月9日(水) 29名

【関東】

⑤第27回ボウリング大会 10月18日(金) 19チーム76名

【中部】

⑥第24回ボウリング大会

名古屋駅名鉄レジャックボウル 11月1日(金) 40名

内容：中部支部会員によるボウリング個人競技大会(2

ゲーム)及び表彰式

【九州】

⑦福岡市制施行百三十周年記念式典 11月13日(水)
福岡市民会館大ホール

⑧(一社)福岡県地質調査業協会創立40周年記念式典 11月13日(水)

オリエンタルホテル福岡

V 会議の開催

1. 理事会

1) 第16回業務執行理事会 9月5日(木)

正会員の仮入会／中期行動計画／令和元年度事業執行
状況他

審議結果の要旨：決議議案については、すべて決定等
がなされた。

支部における社会貢献活動

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／調査課長 幡豆英哉

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）の各支部では、それぞれの地域で開催される水環境や上下水道にかかわる各種イベントや、社会に貢献できる活動に積極的に参加しています。

平成31年及び令和元年、各支部が参加した社会貢献活動を以下にご報告致します。

(1) 「水循環パネルの貸し出し事業」 北海道支部

北海道支部では支部で作製した水循環パネルを、毎年様々な会場へ貸し出しを行っています。令和元年度は、6月に「足寄町」、7月27日から8月8日にかけて「新ひだか町」にパネルをお貸しいたしました。足寄町では小学生の上下水道に関する授業で活用していただき、新ひだか町では「上下水道パネル展」会場の新ひだか図書館博物館及び総合町民センターなどで展示して頂き、訪れた多くの方々に水循環への理解を深めて頂きました。また、来場された方々から表-1に示す感想を頂きました。



写真-1～2 足寄小学校での活用状況



写真-3 新ひだか町での水循環パネル展示状況

表-1 アンケート意見集約（感想のあったもののみ抜粋）

住所	性別	年齢	上下水道パネル展の感想など
町内	女	10歳	わかりやすくてよかった
町内	女	25歳	小さな子から大人までわかりやすかった
町内	女	38歳	知らないことがたくさんあり、勉強になりました
町内	女	37歳	水道のしくみと大切さがわかって良かった
町内	女	35歳	見やすくてとても勉強になった
町内	女	7歳	べんきょうになった
町内	女	64歳	1日の使用料に意外と使っているなあとおぼされた
町内	女	72歳	団塊の世代で、ガカーリンの「地球は青かった」をリアルタイムで聞き、子供時代は井戸やポンプ井戸の生活でした。「フルーブラネット」に深くうなずけます。一方米国モンタナ州では先住民保護区に「ランニングウォーター」がない現象を見ました。公共料金では水道料金だけは滞納せず払うのは水のありがたみを知るせいです。8月5日は見学し、ブログでもレポートします。
町内	女	13歳	温暖化と水資源が関係していることがわかった。地震の被害を水道管が受けたら大変だなと思った。
町内	女	50歳	とても理解しやすくて良かったと思いました！！
町内	女	51歳	とてもわかりやすく展示して良かったです。水道のしくみが子供でもわかりやすいと思いました。
町内	女	84歳	ためになりました。

(2) 「広瀬川1万人プロジェクト～第26回 広瀬川流域一斉清掃～」 東北支部

開催日時：2019年9月28日(土) 10:00～12:00

広瀬川1万人プロジェクトは、杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開しています。主な活動は、春と秋に



写真-4 広瀬川で清掃作業をする東北支部の皆様及び集合写真

実施している流域一斉清掃です。

今回の参加者数は全14会場で過去最高の2,142名（昨年2,065名）、集めたゴミは300袋になり、昨年より40袋ほど減少したようです。

水コン協東北支部は、今回で12回目の参加となり、当日は清掃作業には良いコンディションでしたが、例年に比べ草丈が高くゴミを見つけ出すのに苦労したようです。また、会員15社（昨年14社）から、こちらも過去最高の94名（同71名）が参加し大橋左岸会場にて清掃作業を行い、大勢の方々にご参加いただいたおかげで定刻より早めに作業を終了することができました。これからも多くの市民が楽しめるよう、自然環境を守る活動を継続していきたいと思えます。

(3) 「仙台市下水道フェア」 東北支部

「仙台市下水道フェア」に東北支部として「下水道のがっこう」を出展しました。「仙台市下水道フェア」は、毎年11月3日の文化の日に「青葉区民まつり」に併設して開催されており、家族連れをはじめ多くの方に来場していただいております。10月12日の台風19号以降不安定な天候が続いておりましたが、当日は気温も高く、お祭り全体により一層の活気を感じることができました。

「下水道のがっこう」では、下水道にまつわるクイズの



写真-5 クイズを出題している様子



写真-6 参加者と一緒の実験している様子



写真-7 「仙台市下水道フェア」東北支部実行委員（19名）集合写真

出題や「つまらん管」の実演実験を実施しました。実演実験は、参加型としており興味津々にのぞき込む子供も多くみられ、クイズの参加者にはクジにより景品を提供しました。今回は景品の総数を増やしましたが、ほとんどなくなってしまふほど盛況でした。

下水道フェアへの出展は、協会PRのみならず、市民の方々にも下水道に関心を持っていただく大変重要な機会です。今後も継続して参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

(4) 第16回「身近な水環境の全国一斉調査」 関東支部

「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと河川管理者が連携して実施する「全国水環境実行委員会」が主催して行う水環境の調査活動で、平成30年度までに全国で延べ約10万7千人が参加しています。16回目となる「身近な水環境の全国一斉調査」は、令和元年6月2日（日）に実施され、関東支部からは会員会社13社及び本部事務局の社員とその家族の合計79名（大人61名、子供18名）が水質調査に参加しました。

調査地点は、参加者が生活されている地域の身近な河川・湖沼等の46地点で、COD測定と水辺の環境や動植物について観察を致しました。毎年、参加された方あてに、この調査活動についてのアンケートをお願いしていますが、5回目の参加となった方からは「今年は毎年調

査を実施している場所から少し離れた「江川せせらぎ遊歩道」も歩いてみました。こちらは愛護会というボランティア活動があり、この日もお花の手入れをされている方がいらっしゃいました。このように地域住民の方々の地道な活動が環境を守っているのだと実感しました。」との感想が記されていました。

(5)「荒川・下水道フェスタ2019」 関東支部

関東支部では下水道委員会活動として、2019年10月5日（土）に荒川水循環センターで開催された埼玉県・埼玉県下水道公社主催の「荒川・下水道フェスタ2019」に、NPO 21世紀水倶楽部と共催で出展する形で参加いたしました。前年度と同様に、一般市民に下水道について理解を深めていただくとの趣旨で、21世紀水倶楽部が用意した反応タンク模型内の微生物探しゲームに、関東支部下水道委員3名が説明員として参加するとともに、水コンサルタント及び水コン協の活動を紹介するリーフレットの配布のほか、パネルやポスターをブース内に展示して水コンサルタントのPRを行いました（ノベルティの配布も行いました）。その結果、ブースへは、680名の親子連れなどが来場し、前年度（344名）以上に盛況な活動となりました。

関東支部としては、引き続き一般市民の下水道についての理解を深めていただく取り組みを行っていくとともに、水コンサルタントのPRに努めていきたいと考えて



写真-8 会場正面入り口



写真-9 説明風景

います。

(6)「出前授業」の実施 中部支部

中部支部の「出前授業」は、令和元年度で6回目を迎えました。上下水道の仕組みについて学ぶ小学4年生を対象に、「下水道の仕組み」について説明しました。

授業の内容は、以下のふたつです。

①下水道協会のHP スイスイ君を用いた「下水道の仕組み」の説明。

②「なぜティッシュを流していけないの?」と題した、トイレトペーパーとティッシュの簡易な溶解実験。(妖怪?実験室…と命名!)

子供たちは、既に名古屋市浄水場施設などを見学しており驚くほど正確な知識を持っていました。学校教育で、上下水道施設が大きく取り上げられていることを実感する場となり、「上下水道の技術者」として紹介されることが、誇らしく感じたようです。



写真-10 出前授業の様子



写真-11 妖怪実験室（簡易溶解実験）の様子

(別々のペットボトルに、ティッシュと色付きトイレトペーパーを水と一緒に入れ、シェイク!溶解状況を観察します)

(7)「富山県下水道フェスタ2019」 中部支部

中部支部では、毎年管内の「下水道フェア」に協賛参加しています。はじめて愛知県の各流域下水道フェアに参加し十数年継続して参加しましたが、ここ数年は、富

山県の下水道フェスタや愛知県下水道科学館夏祭りに交互に参加している状況です。毎年、年度初めに、各自治体から参加依頼がくる状況になっています。今年は富山県の番で、具体的な活動内容及び目標は以下のとおりです。

- ①「簡単なゲーム（ボウガンダーツ）の賞品として、水で冷やした「中部各地のおいしい水」を配布。我々が活動している中部地区の「水」が如何に美味しいか・素晴らしいかを体験して頂く。



写真-12 中部支部マスコット「エアリス」



写真-13~15 「富山県下水道フェスタ2019」中部支部のブースの様

②水の循環を知って頂くとともに、水や上下水道システムのありがたさを再確認して頂く。

③水コン協の活動を知って頂く。

賞品の「水」は中部地区内の自治体等が販売されている「ペットボトルの水」です。近年は活動の趣旨を御理解頂き、「無償提供」の自治体が増えてきました。ありがたいことと感謝しています。

子供・大人を問わず大変好評な企画で、用意した賞品の「水」約700本は「あっという間」に無くなってしまいました。また、中部支部マスコット「エアリス」の物語（冊子）と団扇も、水コン協の宣伝に一役かってくれました。

(8)「水源涵養事業」への参加

中部支部

中部支部では、東海地区の水源地域のひとつである長野県木曾町にて「水源涵養」事業に10数年継続して参加しています。水源涵養林の「枝打ち」等の作業を労働奉仕すると共に、作業を通じて水源の重要性や水のありがたみを身をもって体験することができます。

2018年より木曾町様と水コン協中部支部とで水源保全事業の「覚書」を取り交わし、水コン協中部支部が主催者として実施する形態となりました。同年は、枝払い等の作業が実施できましたが、昨年は野生のイノシシを媒介し「豚コレラ」の伝染が拡大する状況から人の立ち入りが制限され、実施内容を急きょ変更し「水源保全のための枝払いなどをする意義」、「水源保全により保全された水の行方」を木曾町様と一緒に確認していくことになりました。



写真-16 水源涵養の重要性についての講義風景



写真-17 「水源涵養事業」中部支部参加者集合写真

秋深まる10月26日（土）に開催し、参加者約50名が木曾町農林振興課の誘導で「木曾官材市売協同組合」の「土場」と呼ばれる木材集積場で組合理事の方から水源保全に有効な木曾木材の説明を受けました。林業の実態、山々の荒廃状況などの説明を受け「水源保全」＝「山林保全」・「林業の持続的継続」がいかに重要か、中部支部会員一同深く理解できました。さらに、水資源機構の愛知用水総合管理所「牧尾ダム」に移動し、東海地方の重要水源の状況について説明を受けた後、施設見学いたしました。

水源涵養の重要性について再認識し、かつ一刻も早い「豚コレラ」の終息を願いつつ帰途につきました。

(9) 「仁川学院中学アカデミア探求―出前講座の講師派遣―」 **関西支部**

仁川学院中学における「アカデミア探求」授業は、生徒たちが“身近なものに触れ「なぜ？」という疑問を持ち、その疑問を様々な手段で解決し、そこから発展した答えのない問いに立ち向かってほしい”、という教育方針のもと、令和元年から始動しました。

まず、令和元年の探究テーマを「水」とし、「水」の基礎知識を授業で説明するために、「水」の専門家兼講演者を探されていました。その中で、関西支部HPに掲載されているコーナー「水のこと」を閲覧された御担当者から、関西支部に講師派遣要請がありました。

これにより、5月11日（土）に関西支部から瀬川・清水両氏が派遣され、水循環や簡易的に水辺を調査できる方法などをお話しさせていただきました。

事後のアンケート結果では、最も印象的な内容として、

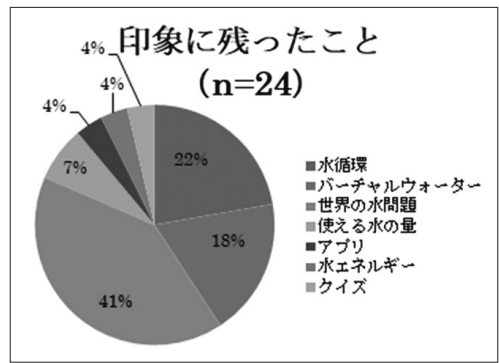


図-1 アンケート結果

世界の水問題が全体の4割を占めました。また、水について考えるにあたり、地球規模、世界規模での実態に目を向けることで、自国の状況を把握し、自分自身の習慣に立ち返ることが出来たという意見を多く寄せられていました。

今後、同様な啓発活動を実施する際は、生徒の集中力や興味を考慮した内容とすると、より有意義な企画となるとも感じました。啓発活動は、PDCAサイクルを経て継続していくことが何より重要と考えています。

(10) 「しぜん探検隊」 **関西支部**

関西支部では社会貢献活動として、毎年2月に“猪名川クリーン作戦”に参加し河川敷のゴミ拾い、水質分析など実施してきましたが、寒い時期での開催、かつ業務繁忙期であることなどから、必ずしも活発な活動ではありませんでした。

その反省を踏まえ“猪名川クリーン作戦”に代わる新たな企画“しぜん探検隊”を一昨年度に立案いたしましたが、残念ながら雨天中止となりました。

令和元年度は初めての開催となり、8月24日、当日は天気も良く、総勢40名、内小学生8名が交野市立水辺プラザに集合しました。

実際に川に入り、生き物を観察したり、もんどりを使った魚とりや、とった魚の名前を図鑑で調べ、またその魚が川のどのようなところにいたかを絵で表しました。



写真-18～19 講座の様子



写真-20 川での学習風景



写真-21 もんどりで採った魚



写真-22 図鑑で魚の名前を調べる



写真-23 生物の生息図を作成



写真-24 「しぜん探検隊」参加者集合写真(楽しかった～)

夏休み終盤の半日を楽しく、有意義に過ごすことができ、子供たちにも好評で、今年も継続して開催する予定です。

(11)「広島市下水道ふれあいフェア」 中国・四国支部

令和元年9月8日(日)、広島市と(一財)広島市年整備公社主催の「下水道ふれあいフェア」が、広島市西部水資源再生センターで開催されました。

このフェアは、9月10日「下水道の日」にちなんでイベントとして、毎年9月10日前後の日曜日に行われており、中国・四国支部もブースを出展し「上下水道コンサルタント業務等を紹介するパネル」の展示や「ミネラルウォーター」、「水コン協の事業活動に関するパンフレット」などの無料配布を、支部長・幹事会社のスタッフが行いました。

当日は、天候にも恵まれ大勢の方々が来場されました。



写真-25～26 「広島市下水道ふれあいフェア」中国・四国支部出展ブースの様



写真-27 「下水道ふれあいフェア」中国・四国支部スタッフ集合写真

配布物が無料ということもあり、ブースには行列ができるほどの大盛況で、多くの方に下水道への理解や下水道事業についての意識向上を努めることが出来ました。

今後とも、積極的に社会貢献活動を行っていきます。

(12) 「ラブアース・クリーンアップ2019 inふくつ」
九州支部

福津市が主催する「ラブアース・クリーンアップ2019 inふくつ」は、令和元年6月23日（日）に開催されました。

会場は福間・津屋崎海岸一帯で、市民・企業・行政が協力して、地域環境美化活動を実施することを目的として、海岸に散乱しているゴミの清掃作業を行いました。参加者の総数は1,482名で九州支部からは104名が参加しました。収集量は、可燃物、不燃物、ポリ容器等合わせて4,590kgあり環境保全の重要性を大いに認識しました。



写真-28～29 「ラブアース・クリーンアップ2019 inふくつ」九州支部参加者の清掃作業風景



(13) 第22回「耶馬の森林」植樹の集い 九州支部

「耶馬の森林」育成協議会が主催する第22回「耶馬の森林植樹の集い」が、令和元年11月23日（土）大分県耶馬溪ダム湖畔で開催されました。

本事業は、耶馬溪導水事業の完成により、流域の中津市から北九州市まで約127万人が、毎日『水』の恩恵を受けて暮らしていますが、過疎化・少子高齢化の進展により豊かな水を育む森林の維持・管理が危惧される状況にあることから、水源涵養のための植樹を行うことを通じて、水源保全に貢献し、併せてその重要性を認識するものです。

今回は、以前植樹したところの補植を行いました。

九州支部からは会員とその家族合わせて19名が参加致しました。植樹の作業をとおして水源保全の重要性を大いに再確認致しました。



写真-31～32 「耶馬の森林」植樹九州支部参加者の作業風景



写真-30 「ラブアース・クリーンアップ2019 inふくつ」九州支部参加者集合写真



写真-33 「耶馬の森林」植樹九州支部参加者集合写真



1. はじめに

2019年度下水道展が8月6日(火)～8月9日(金)にパシフィコ横浜で開催され、水コン協は、「水コン協カフェ'19横浜」として出展しました。

- ・水コン協ブース：展示ホールD-649（2小間）



写真-1 会場（パシフィコ横浜）

2. 出展目的と企画内容

(1) 出展目的

今回は学生が夏休みの8月開催のため、第二期中期行動計画の“人材確保支援のためのイメージアップ活動”の一環として就職活動を控える学生に水コンサルタントの魅力のアピールすることを目的としました。



写真-2 完成したブース（開場前）

(2) 出展企画

「#水コンNavi@Cafe」と題して、カフェスタイルの入りやすいブースを作成し、就職活動を控える学生向けのイベントを開催しました。イベントでは、若手コンサルタント職員から仕事の内容や社会的役割、学生へのメッセージをプレゼン形式で伝え、一緒にブースを巡った後に、本音でトークの時間を設け、水コンサルタントへの理解を深めてもらう企画としました。

コンセプトとキャッチフレーズ

- ・コンセプト：学生に水コンサルタントの魅力を伝える
- ・キャッチフレーズ『水コンサルタントになろう』

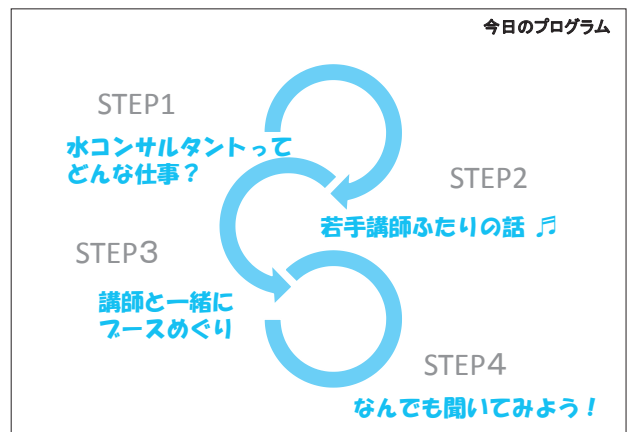


図-1 学生向けイベントのプログラム

(3) 運営体制

本部対外活動委員会内の「下水道展小委員会」にて出展方針と内容を検討し、関東支部から公募した運営委員及び下水道委員会並びに総務委員会の協力を得てブースを運営しました。

運営体制（委員の構成）

- ・下水道展小委員会：出展企画、運営支援
- ・下水道展運営委員会：ブース運営、学生向けイベント（関東支部から公募）
- ・関東支部下水道委員会：自治体等のブース来場者対応
- ・関東支部総務委員会：出展企画へのアドバイス

(4) 展示内容

学生向けイベントに併せて、協会の紹介パネル（LEDバックライトで照明兼用）、各種リーフレット、広報誌掲載記事等により水コン協の活動を紹介しました。

展示（一部配布）した資料

①協会の紹介パネル（ビジョン、魅力、公益法人化）、②第二期中期行動計画説明資料、③加盟会員会社の採用情報（2019.07.01現在）、④リーフレット（私たちの大切な水）北海道支部、⑤リーフレット（水の妖精エアリス）中部支部、⑥リーフレット（教えて？知りたい！水のこと）関西支部、⑦若手社員研修会2017（関東支部）、⑧水坤記事：私の仕事（若手職員のレポート）

(5) 出展準備

2018年10月に第1回下水道展小委員会を開催し、2019年4月初旬までに計3回の小委員会にて出展企画を検討しました。4月下旬に関東支部の協力を得て運営委員を公募し、5月以降は計4回の下水道展小委員会と運営委員会の合同委員会で出展準備を進めてきました。

(6) 集客対応

集客に際しては、最初に案内用のリーフレットを作成し、水コン協のホームページに開催案内とイベント参加エントリーフォームを掲載しました。リーフレットは、学校訪問時に大学の教官・学生に配布しました。

学校訪問は、2年前の東京開催時の大学訪問リストをもとに、下水道展小委員会メンバーで大学訪問先を分担し、研究室教官へ学生の来場を依頼しました。

3. 水コン協カフェ運営状況

(1) 来場者数

下水道展全体では46,659人が来場し、水コン協カフェには親子連れを含め、1,101人が来訪しました。協会ブースへの来訪者数は前回の'17東京とほぼ同程度でしたが、学生数は初めて100人を超える結果となりました。

(2) ブースの様子

4日間を通じて多くの学生がブースを訪れ、イベントは何れの回（全7回：初日は午後のみ）も定員オーバーで立ち見が出るなど活況を呈することができました。

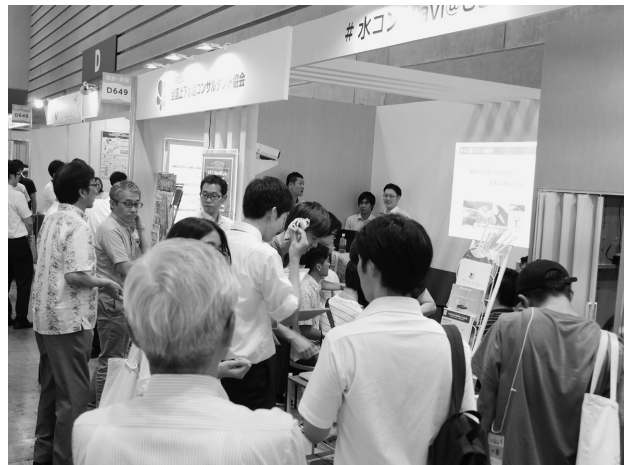


写真-3 イベント開始前（受付）

クイズラリーで訪れた親子も多く、二択問題のシール貼りは、仕掛けがほとんどなくても子供たちが楽しめて、親子で会話するとても良いツールになりました。



写真-4 クイズラリーの親子連れ

A flyer for the "Water Consultant Cafe '19 Yokohama". The top features a water splash graphic and the title "水コン協カフェ '19横浜". Below the title, it says "『水コンサルトンになろう』学生向けイベント #水コンNavi@Cafe". The flyer lists a "Course Menu" with four items: "Water Consultant work?", "Interview with a young consultant", "Water Expo booth tour", and "Company intro". It also includes a "Cafe Open" schedule for August 6-9, 2019, and a QR code for registration. The bottom of the flyer mentions "公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 (水コン協)".

図-2 水コン協カフェのリーフレット

(3) 併催行事

水コン協では、ブース出展のほか併催企画として8月7日14時より別途会議センター（501ルーム）にて、「水コン協における防災・減災・安全への取り組み」として、①「下水道雨水管理総合計画策定マニュアル（仮称）について」（技術・研修委員会）、②「災害時支援マニュアル（下水道版）について」（災害時支援者育成小委員会）の二つの講演を行いました。

4. 学生アンケート

イベントに参加した学生へのアンケートの結果、103名の学生から回答を得ました。水コン協カフェを知ったきっかけは主に学校関係者からで、時間的にはちょうど良かったとの回答が96名（93%）を占めました。「全体の印象」は“大変良い+良い”が90名（87%）、「仕事の紹介ビデオ」は同じく79名（76%）、「若手コンサルの経験談」では同じく88名（85%）、「一緒にブース巡り」は同じく81名（78%）、「本音トーク」は同じく80名（78%）でした。“大変良かった”との回答が多かったのは「カフェ全体の印象」、「若手コンサル経験談」、「本音トーク」で約35%、加盟会員採用情報は“大変役に立つ+役に立ちそう”が84名（82%）でした。

良くなかったとの回答もありましたが、興味が他にあり自分の意志で参加していない可能性が考えられます。

本音トークと加盟会員採用情報では、未回答の割合が他に比べて高く、社会に出ることへの迷いがあることも推測されました。

表-1 アンケート集計結果：回答103名

評点	設問別回答数（件）				
	全体の印象	仕事紹介	若手の経験談	ブース巡り	本音トーク
5	36	25	36	23	35
4	54	54	52	58	45
3	5	15	7	14	9
2	1	2	2	1	0
1	0	0	0	1	0

※5大変良い、4良い、3普通、2良くない、1全く良くない

5. 本音トーク

本音トークでは「入社後」の質問が多く、次いで「学生時代の過ごし方」と「就職活動」に関する質問がほぼ同数でした。入社後の質問では、院卒割合、各種手当、給与・昇進、業界体質、結婚・育児、建コンとの比較、残業、仕事内容、社会に出ることへの不安や将来への不安、出張、女性社員割合、土木以外の適性（文系含む）、大学知識の活用、出会い、土日生活、有給休暇、離職など、多くの質問が学生から投げかけられ、若手コンサルタント職員は自らの経験をもとに真剣に回答していました。

本音トークの結果から、全体的に水コンサルタントの認知度が低いこと、参加した学生の多くは学部3年生で志望が固まっていない状況にあることが確認されました。学校側対応（課外授業の一環）で参加した学生の中には、就職意欲があまり見られない学生も一部見受けられました。同様の企画を実施する場合には、なるべく多くの学校（大学、高専等）から参加者が集まる仕組みを工夫する等、改善の余地があることもわかりました。

6. スタッフの声

ブースを運営したスタッフからは、良かった点や改善点について様々な意見を聞くことができました。運営委員会の段階からグループワーク形式で討議を進めたことで、開催当日に向けたチームビルディングが出来たことが当日のスムーズな運営に繋がりました。当日の親子連れへの対応に関しては、スタッフの自然な声掛けと思いやりが印象に残るものとなりました。

7. 出展者表彰受賞

水コン協カフェは、展示やプレゼンテーションなどが評価され、一般投票による下水道展出展者表彰の優秀賞（3小間以下の部）を受賞しました。水コン協としては、初めての受賞となります。



写真-5 出展者表彰状優秀賞



写真-6 出展者表彰式の様子

8. おわりに

水コン協のブースには4日間で延べ1,101名の来訪があり、スタッフ各自が率先して受付や親子連れの対応を互いにフォローし合うことでトラブルもなく無事に終了することができました。2011年の初出展から8年、水コン協として初となる優秀賞を受賞するという嬉しいサプライズもありました。スタッフの情熱と絆、来訪者への心遣いが、一般来場者からの投票に繋がったものと感じています。講師となった若手コンサルタントの皆さんからは、自らの成長につながる貴重な発表の場になったと

の声も聞かれました。

協会や会員のPRだけでなく人材育成の場としても、「水コン協カフェ'19横浜」は、有意義な場となることができました。今回の経験が、「下水道展'20大阪」の成功に向けての橋渡しとなれば幸いです。

最後に、多くの学生を送り出して頂いた学校関係者の皆様、来場頂いた皆様、ブース廻りにご協力頂いた出展者の皆様、水コン協の出展に際して、企画、準備、運営にご協力頂いた運営委員並びに関係者の皆様に、誌面をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。



写真一七 スタッフ集合写真（10月15日の出展結果報告会にて）